

## 8. 国際機関実務体験プログラム (育成・支援プログラム)



## 学生からの報告

### ITTO（国際熱帯木材機関）

活動先 ITTO（国際熱帯木材機関）

活動期間 2015年7月～9月

活動内容 インターン（広報業務）

100時間なんてあっという間。今、私はとてもそう思う。ITTOでインターンをしたことは、私に大きな影響を与えた。ITTOは日本語で国際熱帯木材機関という名前で、世界の木材貿易を管理したり、世界レベルの会議に参加したりと、熱帯雨林の保護を目的としている。本部は横浜にあり、職場の公用語が英語で大多数が外国人である。私はメキシコ人のラモンさんと一緒に広報の仕事をさせていただいた。広報の仕事の大切さ、仕事に対する責任感の重要性、国際機関で働くということなど、ここに書ききれないほど多くのことを学ぶことができた。そして100時間は瞬く間に過ぎてしまった。私はインターンを通してたくさんの人にお世話になり、友好関係も築くことができた。国際機関での体験を、一生忘れることはないだろう。

(国際学部国際学科)

### 横浜市国際交流協会（YOKE）

活動先 横浜市国際交流協会（YOKE）

活動期間 2015年8月～9月

活動内容 外国につながる子どもの学習支援およびYOKEの事務体験

私は中国・上海の出身で、2011年に来日し、今年4年目を迎えた。日本にやって来たばかりの頃は、コミュニケーション力の不足で生活に支障が出たり、異なる文化における生活習慣の違いが出てきたりしたが、多くの日本人に助けられた。4年間の留学生活が私を大きく成長させ、これまでにさまざまなボランティア活動をしてきた。そして今回、YOKEが掲げている「日本人と外国人がともに力を発揮できる多文化共生の横浜」の実現に共感し、自分も支援を受ける側から支援をする側になりたいと思い、インターンに応募した。YOKEで研修させていただいた100時間では、多文化共生を中心にさまざまな仕事を体験した。この度の研修で得た経験や知識などを、今後の勉強や仕事につなげていきたいと思う。

(社会学部社会学科)